

企画展

ま
る

ま
ゆ
め
ま
ゆ
め

—カ夕子と機能 館蔵民具展—

令和3年 10月2日 **土**
～ 11月21日 **日**

休館日：毎週月曜日・第3火曜日
開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10-22
蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台（市民会館と共有）
TEL 0533-68-1881 FAX 0533-68-1880
URL <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>



ドウマン



踏車

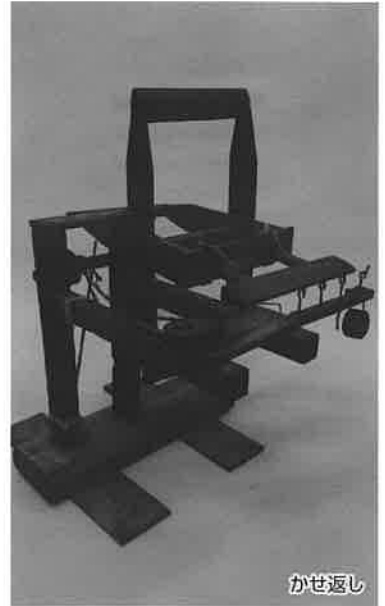


毛羽取り機

『民具』は学術用語です。この言葉を造った澁澤敬三（澁澤栄一の孫）は、民具を「日常生活の必要から技術的に作り出した身近卑近の道具」（澁澤敬三『民具蒐集調査要目』まえがきより 昭和 11 年）と規定しました。その後、様々な研究が進められる中で、近年では、人々が日常的に使用する生活雑器全般を“民具”として取り扱うようになりました。

蒲郡市では、昭和 54 年の博物館（当時は郷土資料館）開館以前から、市民のみならずから多くの民具をご寄贈頂き、収集してきました。今回は、これらの中から、「まわるモノ」「まわすモノ」そして「まるいモノ」を集めました。「まわるモノ」「まわすモノ」は、手動、人力で働いていた道具たちです。糸・ゴム・歯車などを使って道具の作業効率を高め、家族規模の手工業を支えました。また、「まるいモノ」は、木、竹、籐、土などから作られ、捕まえ、運び、たくわえ、売り、食し、祝う等、人に関わる多くの生業の手助けをしました。しかし、これらの民具は機械化、自動化、大型化の流れの中で姿を消したものも多く、今、生活の中で見る機会はほとんどなくなってしまいました。

この企画展では、かつて蒲郡に暮らした人々の生活・文化を支えた多くの民具を展示します。カタチの面白さ、機能の豊かさ、歴史の生き証人としての民具の数々をぜひご覧ください。



かせ返し



金魚売り桶



夫八車



苗運び籠

愛知県史跡整備市町村協議会
30周年事業

あいちの史跡をめぐって
「御城印」「御史跡印」を集めよう！

期間：令和3年10月1日（金）～12月28日（火）
加盟する県内37市町村が参加。
蒲郡市では馬乗2号墳の御史跡印（右写真）を博物館の窓口にてお渡しします。
詳しくは「愛史協HP」をご参照ください。



企画展

まる・まわる・まわす

一カタチと機能 館蔵民具展一

令和3年10月2日（土）～11月21日（日）
休館日 毎週月曜日・第3火曜日
開館時間 10:00～17:00（入館は16:30まで）



蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町 10-22
TEL 0533-68-1881 FAX 0533-68-1880
URL <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>

蒲郡駅南口より
徒歩 10分

駐車場
300台
(市民会館と共有)